



令和元年 9月1日号

# 猪苗代小学校だより

学校像：笑顔で登校できる楽しい学校

発行者：猪苗代小学校長 金成和彦

## 2学期のスタート

子ども達、242名が無事37日間の夏休みを過ごすことができました。これも、ご家庭それから地域の皆様のお陰であると思います。本当にありがとうございました。まだ、子ども達には聞いてませんが、「この夏休み、どこに行ってきたの?」とか「どんな夏休みだったの?」と聞いてみたいと思います。

この夏休みで、また一段と一回り大きくなり、頼もしくなって学校に戻ってきたようです。2学期は、水泳記録会、野口体育祭、修学旅行、野口音楽祭、マラソン記録会、わくわく発表会と行事が目白押しでやってきます。普段の学校生活、それからこういった行事を経験して、また大きく成長してほしいなと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、また何かとお世話様になりますが、どうぞ2学期間もよろしくお願いいたします。

## 不審者から子ども達を守るための協力をお願い

昨今、登下校中の子ども達に対する「不審者」が出没しております。学校で不審者から身を守るすべを、4月に猪苗代警察署の方を講師に招聘し、「防犯教室」を行っております。でも、我々、教師の力のみでは、不審者から子ども達を守ってやれません。そこで、地域の方々のお力をお借りするしか無いと思います。

不審者に対応するために、「・・・ながら」でご協力いただければと思います。「・・・ながら」というのは、ゴミ収集所にゴミを出しに行きながら、犬の散歩をしながら、ご近所の方と話をしながら、ということです。そして、子ども達の登下校の際、安全に登下校できますよう見守ってほしいと思います。学校では、子ども達に「地域の方々へあいさつ」するように積極的に指導しております。子どもを見かけたら「おはよう」や「こんにちは」などのあいさつをお願いします。子ども達の登下校時に協力をお願いします。

## 青少年の主張猪苗代大会

7月13日(土)、猪苗代町体験交流館学びいので開催された「第32回青少年の主張猪苗代町大会」に参加した代表の6年生は堂々とした発表をすることができました。

「コンプレックスは個性」という題で、自分がいやだと思っていたことを家族や担任の先生、周りの方々から励まされ、従弟の病気をきっかけに克服し、前向きに生きていこうという内容の発表でした。頑張りました。



## 着衣水泳

水難事故に遭いそうになったら、どう対応すればよいかを子どもたちに体験させておくことも大変重要なことです。そこで、５・６年生は７月１２日（金）に、学校のプールを使用し、「着衣水泳（衣服を着たまま水に落ちたらどうなるか）」の学習を実施いたしました。

服を着たまま水に落ちるとどうなるか、落ちたらまず何をすべきか、水に浮くためにはどうすればいいのかの３つのことをポイントにして授業を行いました。

子どもたちは「服を着ていると動きがとれなくて怖い」「水着では泳げるのに、泳げない」「水中で服を脱ぐことなんてできないかも」・・・という感想を持ちました。



## 校外学習

７月１１日（木）、コスモス学級の１年生、２年生、３年生のなかよし３人組が校外学習で会津若松市に行ってきました。猪苗代駅に集合して、電車で会津若松駅まで行きました。駅員さんに「会津若松駅まで往復切符をお願いします」としっかり言えて、切符も無事に買うことができました。

若松駅から周遊バスに乗って鶴ヶ城、ささやきヶ丘公園、湯川遊歩道に行きました。お昼はみんなでラーメンを注文してペロッと平らげ、頼もしさを感じました。昼食後は中央公園で仲良く遊び、周遊バスで若松駅へ。帰りの電車ではおやつを楽しく食べ、一日中笑顔が絶えない校外学習でした。



## 人権教室

７月１０日（水）、町の人権擁護委員会の方々を講師にお迎えして、２校時目に２年生、４校時目に４年生で「人権教室」を実施しました。クイズやロールプレイを通して、「人権とは」について考え、自分や相手を思いやる心を育てるために毎年実施しています。昨年度までは４年生のみを対象に行っていましたが、今年度は２年生も実施して、楽しい授業の中にも真剣に考える時間も設定されて、２年生も自分や相手を思いやって行動することの大切さを学ぶことができました。また、ＳＯＳミニレターや子どもの人権１１０番の使い方についても教えていただきました。

猪苗代町人権擁護委員会の皆様、お忙しい中、ありがとうございました。

